

研究協力のお願い

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

記

研究課題名：耳下腺癌ホウ素中性子捕捉療法の治療効果予測に対する基礎研究。

研究の意義：当科で蓄積された耳下腺癌の組織学的データを用いて、耳下腺癌に腫瘍細胞のアミノ酸取り込み能(Lアミノ酸レセプター発現率)および腫瘍細胞の核/細胞体積比(N/C比)を測定し、悪性疾患に対する新規粒子線治療(ホウ素中性子捕捉療法)の治療前に治療効果予測因子としての検討を行います。

研究の目的：耳下腺がんの腫瘍細胞のアミノ酸取り込み能力、およびN/C比の計測を行い、耳下腺がんに対する新規粒子線治療(ホウ素中性子捕捉療法)の治療効果予測因子としての基本的情報の計測を目的とします。

研究の対象：1999年2月～2018年6月までに耳下腺癌手術治療を施行した20歳から85歳の患者さんを対象とします。

研究の方法：手術標本を用いて、Lアミノ酸レセプター発現率と腫瘍細胞のN/C比を測定し、集計してホウ素中性子捕捉療法の耳下腺癌の治療効果予測の検討を行います。

ご自身の既存試料・情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください(対象者の代理人からの申し出も受付いたします)。申し出をされた場合は、本研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

対象者の方(その代理人)の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

本研究にて取得しました試料・情報は、本研究に関わる者と個人情報管理担当者(乾 崇樹)が利用いたします。

研究期間：2019年1月8日～2025年3月31日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

耳下腺癌に対して、手術を受けられた方の病理組織標本を使用します、使用するデータは氏名や生年月日等、特定の個人を識別することができる情報を切り離し、誰の情報かわからない状態にして耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室内のパソコンで保管します。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：申し出先までご連絡ください(代理人からの申し出も受付いたします)

利益相反について：本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。本研究は当該マネジメントの結果、開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：粟飯原 輝人 関西 BNCT 共同医療センター 専門教授

東野 正明 耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学 講師

平松 亮 脳神経外科学 講師

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 関西 BNCT 共同医療センター

担当：粟飯原 輝人(あいはら てるひと)

TEL 072-683-1221(代表) 内線 3600